

平成 21 年度 第 2 回 幹事会議事録

(社) 日本地すべり学会

日 時：平成 21 年 8 月 25 日 (火) 13 時 00 分～15 時 00 分

場 所：チサンホテル新潟 佐渡の間

出席者：

| 区 分              |         | 氏 名       | 出欠 | 区 分                   |         | 氏 名      | 出欠 |
|------------------|---------|-----------|----|-----------------------|---------|----------|----|
| 三役等              | 会長      | 丸 井 英 明   | ○  | 支<br>部<br>長           | 北海道支部   | 前 田 寛 之  | ○  |
|                  | 副会長     | 吉 松 弘 行   | ○  |                       | 東北支部    | 事業計画部長兼任 |    |
|                  | 副会長     | 広 嶋 孝 也   | ○  |                       | 新潟支部    | 川 邊 洋    | ○  |
|                  | 専務理事    | 綱 木 亮 介   | ○  |                       | 関東支部    | 鵜 飼 恵 三  |    |
|                  | 前会長     | 山 岸 宏 光   | ○  |                       | 中部支部    | 土 屋 智    |    |
| 委員               | 表彰委員長   | 古 谷 尊 彦   | ○  | 関西支部                  | 藤 村 尚   | ○        |    |
|                  | 教育問題委員長 | 岩 尾 雄 四 郎 | ○  | 九州支部                  | 宜 保 清 一 | ○        |    |
| 各<br>部<br>部<br>長 | 総務部部长   | 小 野 慎 吾   | ○  | 支<br>部<br>長<br>代<br>行 | 北海道支部   | 米 田 哲 朗  |    |
|                  | 編集出版部部长 | 阿 部 真 郎   | ○  |                       | 東北支部    | 千 葉 則 行  |    |
|                  | 事業計画部部长 | 檜 垣 大 助   | ○  |                       | 新潟支部    | 稲 葉 一 成  |    |
|                  | 国際部部长   | 宮 城 豊 彦   | ○  |                       | 関東支部    | 若 井 明 彦  |    |
|                  | 研究調査部部长 | 八 木 浩 司   | ○  |                       | 中部支部    | 小 野 和 行  |    |
| 部<br>長<br>代<br>行 | 総務部     | 松 尾 新 二 朗 |    | 委<br>員                | 関西支部    | 末 峰 章    |    |
|                  | 編集出版部   | 新 屋 浩 明   |    |                       | 九州支部    | 福 田 順 二  |    |
|                  | 事業計画部   | 中 村 直 澄   |    |                       | 財政委員長   | 総務部長代行兼任 |    |
|                  | 国際部     | 上 野 雄 一   |    |                       | 広報委員長   | 太 田 英 将  |    |
|                  | 研究調査部   | 榎 田 充 哉   |    |                       | 庶務委員長   | 山 崎 勉    | ○  |
|                  |         |           |    |                       | 出席者名    | 17       |    |

○開会

- ・会長挨拶
- ・前回議事録報告・承認

I. 議題

I-1. 学会賞の審査報告について(資料-2)

古谷委員長より、選考理由および選考過程について報告され、表彰委員会の決定が了承された。

- ・論文賞・奨励賞・谷口奨励賞・国際賞は該当者なし。
- ・学会特別賞(功績賞)を元学会長 中村三郎氏に授与することを表彰委員全員一致で決定した。
- ・国際賞対象者発掘にご協力をお願いしたい。

I-2. 研究発表大会の開催地について(H22 開催地・H23 開催ブロック)(資料-3・資料-4)

桧垣事業計画部長より、研究発表会開催地について説明がなされた。

(1)H.22 沖縄大会

平成 22 年度沖縄大会の開催日程とスケジュール(案)が報告された(前回了済済み)。通常より 2 ヶ月早い開催のため、準備作業の前倒しと周知の徹底を確認した。

H22 年度開催予定の九州支部とは、明日、新潟支部も含めた引継ぎを行う予定である。

(2)H.23 開催ブロック

H23 年度は、開催地決定手順に従うと、東ブロック(関東、中部支部)となる。

今回の新潟開催に当たっては、北海道開催が検討された経緯があり、次回開催地決定に際して検討の対象としてもらいたい旨が説明された。

#### <討議>

- ・前回北海道開催も話題としてはあったが、原則として東ブロック開催でよいのではないかと。
- ・今回、関東支部長・中部支部長とも欠席なので、この場での了承は得られないが、事業計画部長から両支部長に打診する。
- ・過去には、静岡空港が開港したら、静岡で開催したいとの要望も出ていた。

平成23年度の開催グループは、東日本グループの関東支部か中部支部とすることが決定された。

### I-3. その他

#### (1)繰り越し収支差額の差異について(資料-5)

大隈事務局長から、繰り越し収支差額に関し、文科省より以下の指摘を受けていることが報告された。

- ・前年度と今年度の決算報告が、合致していない。
- ・理事会・総会で承認された決算報告なので、修正する場合には同様な手続きが必要である旨が指摘された。
- ・原因は、財務諸表の作成方法に一貫性がなく、新公益法人会計基準に適合していなかったこと、例年の決算書類では一般会計の繰越収支の表示になっていたが、今年度は総括表を作成したため特別会計分の繰越収支分が不一致となったことなどがあげられた。
- ・この指摘に対して、今後文科省・税理士と処理方法を相談して、具体的な修正方法については結論が出た段階で、理事会に諮り対応することとしたい。

#### (2)国際会員数の推移(資料-6)

大隈事務局長から、国際会員数の推移が報告された。

- ・2007年に会員増を呼びかけたことにより、その後増加傾向が続いており、現在の国際会員数は47名となっていることが報告された。
- ・今後も会員増に向けた取組を行う。

#### (3)基金取り崩しに関する事業計画書について(資料-7・資料-8)

小野総務部長から地震地すべりプロジェクトの事業計画書、綱木専務理事からホームページリニューアルの事業計画書の説明がなされた。なお、基金取り崩しについては総会で承認済み。

#### <討議>

- ・地震地すべりプロジェクトの成果を、委託業務として受注し、ガイドラインとして取りまとめられるよう、働きかけてはどうか。
- ・委託業務としては難しいかもしれないが、研究費(助成金)の獲得を考えても良い。国の防災担当者との意見交換を行っており、本プロジェクトへの期待は大きい。国への提言は積極的に行っていく予定である。
- ・地すべりの用語に関する問い合わせも多く、地震地すべりに関する情報をHPに掲載する必要性を感じる。多くの労力が必要であり、その方法を議論していただきたい。

以上2件の事業について、その事業計画が了承され、理事会に諮ることとなった。

#### (4)理事会と幹事会の役割について

丸井会長から、「理事数が減少したことから、理事会と幹事会の構成と役割を見直す必要があるのではないか。」との提案がなされ、執行部で案を作成して次回提案することが決定した。

##### <討議>

- ・理事会は最終承認機関として位置づけ、決定の方向付けを議論する場としての幹事会と考える。
- ・理事数減で多様な意見が反映されにくくなることが懸念され、幹事会の重要性が増している。
- ・理事会と幹事会の構成員をどのようにしたらよいか、検討していくことが必要。
- ・各部長は理事を兼務するほうがよい。
- ・支部長は、支部の代表であり、学会の代表である理事となる必要はないと考えている。

#### (5)公益法人移行手続きについて(資料-12)

大隈事務局長から、総会で承認された新定款案を公益法人認定委員会窓口で相談した結果、若干の修正事項が指摘されたことが報告された。その結果修正した定款案が説明された。

新定款(案)は、誤字・誤記・用語の統一を行うことで了承され、理事会に諮られることになった。

また、申請ロードマップが示され、丸井会長から今期中に申請を行う方針が示された。

#### (6)甘肅省訪問団について(資料-9)

吉松副会長から、甘肅省訪問団のスケジュールとその対応について説明がなされ、各支部の協力に関して感謝並びに今後の協力依頼が述べられた。

## II. 報告

### II-1. 企画委員会報告(各企画委員長)

企画委員長より、活動報告・活動予定等が報告された。

#### (1) 出版事業企画委員会(当日資料)

- ・Landslides in Japan の編集委員長が土屋理事に決定したことが報告された。また、Web 掲載でも十分ではないかとの意見もあり、出版のメリットを再考することが報告された。

### II-2. 各部、支部からの報告(各部長、支部長)

各部長、支部長より、活動報告・活動予定等が報告された。

#### (1) 総務部(資料-13)

- ・今後の理事会・幹事会・H.22 総会の開催日と開催場所が報告された。
- ・次回の幹事会は、11月27日(金)に学術センター会議室で開催する。

#### (2) 研究調査部(資料-15)

- ・七五三掛地すべり緊急調査の報告と、部員の任期についての検討予定が報告された。

(3) 編集出版部(資料-16)

・H.22年1月より、雑誌の発刊を年度から暦年に改めるため、46巻は4号で終了することが報告された。

(4) 事業計画部(資料-14)

・H.21新潟大会の参加者数(445名)と大会開催要領の見直しを行うことが報告された。

(5) 国際部(当日資料)

・H.20年の国際会議の後処理(助成報告書・原稿執筆)が残されているとの報告がなされた。

(6) 北海道支部(資料-17)

・支部運営委員会と研究委員会の活動報告、現地検討会と技術委員会の滑動予定が報告された。

(7) 東北支部(資料-12)

・地震地すべり第8分科会の取り組み状況と中国甘肅省訪問団への対応予定などが報告された。

(8) 新潟支部(資料-19)

・新潟大会の実行委員会の取り組みと大会期間中の活動予定が報告された。

(9) 関西支部(資料-22)

・近畿地方整備局・関連4学会による「災害時における調査の相互協力に関する協定」の締結と、防府市豪雨災害調査団派遣について報告がなされた。

(10) 九州支部(資料-23)

・現地見学会や技術検討会など、今後の活動予定が報告された。

閉会

以 上

(記録：山崎、文責：小野)